

一五 第172回国会開会式におけるおことば

平成二十一年九月十八日（金曜日）

開 会 式

午後一時五十九分 参議院議長、衆議院参議院の副議長、常任委員長、特別委員長、参議院の調査会長、衆議院参議院の議員、内閣総理大臣その他の国务大臣、最高裁判所長官及び会計検査院長は、式場に入り、所定の位置に着いた。

午後二時 天皇陛下は、衆議院議長の前行で式場に入られ、お席に着かれた。

〔一同敬礼〕

午後二時一分 衆議院議長横路孝弘君は、式場の中央に進み、次の式辞を述べた。

式 辞

天皇陛下の御臨席をいただき、第七十二回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し上げます。去る八月三十日衆議院議員の総選挙が行われ、九月十六日もつて特別国会が召集されました。

われわれは、この際、新たな決意のもとに、内外の諸情勢に対処して、適切な施策の推進に万全を期さなければなりません。

ここに、国会は先の総選挙による新議員を迎え、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法に基づき、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえよ

うとするものであります。

次いで、天皇陛下から次のおことばを賜った。

おことば

本日、第七十二回国会の開会式に臨み、衆議院議員総選挙による新議員を迎え、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

〔一同敬礼〕

衆議院議長は、おことば書をお受けした。

午後二時七分 天皇陛下は、参議院議長の前行で式場を出られた。

次いで、一同は式場を出た。

午後二時八分式を終わる

〔『官報』号外参議院会議録第二号（その一）開会式 平成21年9月18日〕